

基本構想のはじめに  
・本館再整備構想への経緯  
・基本構想の3つの議論の方針

0-1. H25行動プログラムからH28図書館基本構想への状況変化の経緯

- H25夏、市政の展望をふまえた「行動プログラム案」の分館縮減案に大きな市民の反響と行動。
- H25冬、都市計画税の用途を緩和する法改正により、市政計画の前提と展望に状況変化。
- H27冬、駅前PFI本館整備案の進捗困難の状況に、有効条件の適地の取得可能性が生まれた。
- H28春、都心部の、中央公園、中心施設、図書館中央館を連携する再整備の検討が始まった。

0-2. 確認された基本構想策定委員会の進め方

- H23「基本方針・運営方針」とH28「読書活動振興計画」を「本館再整備基本構想の基盤」として策定委員会は議論する。
- H22図書館協議会「中央図書館整備のあり方答申」を「本館再整備基本構想の骨格」として策定委員会は議論する。
- 「市政世論調査や各種アンケート」「行動施設の見直し方針と行動プログラム更新案へのアプロム」「グループヒアリング」「説明意見」など、これまでの図書館への市民意見をふまえ、素案への意見も積み重ねて、基本構想素案を策定委員会は議論する。

| 第一章<br>多摩市民の図書館のいま   | 第二章<br>多摩市民のめざす図書館  | 第三章<br>多摩市民を支える中央図書館   | 第四章<br>中央図書館づくりの進め方  | おわりに<br>・策定委員会の構成と経緯                                   |
|--|---|--|--|--|
| <p>1-1. 多摩市のいまとこれから</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・都市環境と15万人コミュニティの魅力〈ニュータウン再生と図書館〉</li> <li>・第五次総合計画の時代に</li> <li>・図書館マネジメントへの指摘</li> <li>・総合計画に示されてきた図書館政策</li> </ul> <p>※H28. 公共施設見直し方針と行動プログラム<br/>多摩市政の状況分析を梗概化して、配置する。</p> <p>※多摩市政の基本理念と図書館の使命<br/>○多摩市自治基本条例より<br/>第4条基本原則、第17条情報共有<br/>○第五次多摩市総合計画「基本構想より「みんながえがお いのちにぎわうまち 多摩」3つの「まちづくりの基本理念」</p> | <p>2-1. 図書館サービスの原則<br/>「基本方針と5つの運営方針」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※基本方針：市民の「知る」を支援する。</li> <li>※5つの運営方針：①だれもが使える図書館<br/>②子どもの読書環境の整備<br/>③市民や地域に役立つ図書館<br/>④しらべるを支え、つながる図書館<br/>⑤弾力的な管理・運営</li> </ul> <p>※H23. 「多摩市立図書館の基本方針・運営方針について」を、今後の図書館運営にあたっての哲理として配置する。策定委員会の追加的な意見があれば、特記加筆する。</p>   | <p>3-1. 中央図書館整備の「3つの使命」</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 多摩市の図書館システムの中核として、7つの地域館と結び合い、その活動を支える。</li> <li>(2) パルティ多摩との連携も図りつつ、多摩市の文化・情報・教養活動の基地となる。</li> <li>(3) 学校との連携も含め生涯学習の拠点となり、市民のコミュニケーションの向上に役立つ。</li> </ol> <p>※H22. 図書館協議会答申P3の念頭におくべき3つの柱</p>   | <p>4-1. 図書館計画に欠かせない4つの特性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料、人、施設の計画に専門性の裏打ち。</li> <li>・多様な活動とつなぐ、広場性の創出。</li> <li>・多摩市の培った歴史的地域性の反映。</li> <li>・多様な意見を受け入れる市民性表出。</li> </ul> <p>※市民グループヒアリングからは、計画のプロセスでの論理的計画的合理的な説明・情報開示が求められた。</p>   | <p>別冊 資料編<br/>基本構想策定の経緯と記録</p> <p>(1)<br/>策定委員会要点録</p> |
| <p>1-2. 多摩市の図書館サービスの現状</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多摩市の図書館システムの現状(全市全域サービスシステム図)</li> <li>・市民の図書館利用の状況</li> <li>・多摩市の学校図書館の現状</li> </ul> <p>※H28. 多摩市読書活動振興計画の分析梗概や図書館要覧の統計、今回調査作成の統計の分析考察を梗概化して、配置する。</p>   | <p>2-2. 図書館システムとしての多摩市立図書館</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館システムの総体を多摩市立図書館とする。</li> <li>・多摩市の図書館システムの将来像(全市全域図)</li> <li>・図書館システムの充実成長や、政策の持続性を図る。資料・職員・施設の体制を点検し、改革を継続する。</li> </ul> <p>※市民グループヒアリングの圧倒的な意見趣旨。<br/>※最前線の地域図書館の充実を尊重した図書館政策。<br/>※地域図書館を支える中央図書館のあり方への希望。<br/>※本館施設の再整備への期待はあるが、あわせて地域図書館の充実と再整備の重要性も市民は指摘している。<br/>※図書館システムとしての学校図書館充実策の方向性。<br/>※H22. 図書館協議会答申などの指摘。</p> | <p>3-2. 中心地区に連担する開かれた中央図書館</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多摩市の中心・多摩センター地区の環境や活動に連担して、多摩中央公園ともつながり、街に開かれた中央図書館をつくる。</li> <li>・多摩N.T.再生や都心部魅力化を心掛に寄与する</li> </ul> <p>※H22. 図書館協議会答申P3とP4にある、敷地選定にあたり都心部環境との関係づけの記載を、策定委員会協議に加えて基礎資料として、配置する。</p>  | <p>4-2. 資料世界構築と開架の配架表現</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どう編成し、成長させる仕組みをつくるか。</li> <li>・計画的な全域の施設群への配架方針も必要。</li> <li>・中央館の部門構成、主題混配の方針も必要。</li> <li>・課題解決型配架構成、N.Y.再生支援郷土資料。</li> </ul> <p>※求められている現在のマンパワーの再編と経常経費の再編が、人件費の圧縮と資料費の増大に寄与できないだろうかという方向の可能性が求められている。<br/>※暮らし、まちづくり、に役立つ資料構築と配架表現を。</p>                   | <p>(2)<br/>協議検討資料<br/>関係ヒアリング記録</p>                    |
| <p>1-3. 多摩市の図書館サービスの課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館サービスの課題</li> <li>・現在の本館の課題</li> <li>・分館(拠点館・地域館)の課題(多摩市の図書館の課題チャート)</li> </ul> <p>※H28. 多摩市読書活動振興計画の分析梗概やH22. 図書館協議会答申P3の記載、今回現調からの分析考察を梗概化して、配置する。<br/>※課題群の一覧は、マトリックスチャート「多摩市の図書館の課題チャート」(「詳説：課題カード」)の書式で整理。</p>   | <p>2-3. 多摩N.T.再生まちづくりに役立つ図書館として</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・都市の歴史の記憶や新たなまちづくりに役立つ</li> <li>・子どもや子育て、現役世代が集まり必要とする</li> <li>・中心部の魅力や賑わい、多様性や奥行きとなる</li> <li>・暮らしやすい多摩市への若い世代の移住を誘う</li> </ul> <p>※団地の建て替えに始まるN.T.再生や、中心部再整備に、都市と暮らしの魅力要素として、若い世帯の移入を誘う。<br/>※多様な人が集まり交流する広場性、中心市街地の求心力、学校や社会施設をつなぎ支援する焦点、などの重要な都市機能のひとつとしての図書館への期待。</p>  | <p>3-3. 中央図書館の「4つの役割」と地域社会を支えるサービス</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 専門的で充実した図書館サービス<br/>①資料世界の構造化と表現②充実したレファレンス③課題解決型図書館④マルチメディアとICT⑤市外図書館連携</li> <li>(2) 全域奉仕・分館支援・アウトリーサービス<br/>①分館と学校へのネットワーク②宅配システム③地域団体/施設</li> <li>(3) 全市図書館システムのセンター機能<br/>①蔵書構築と保存②ICT導入③協働受入れ④学校司書拠点</li> <li>(4) 市民のひろば、多様な市民活動を支えるサービスと場の提供<br/>①A'リア対応②催事企画③展示/喫茶④自由な広場性</li> </ol> <p>※H22. 図書館協議会答申P4～8にある、これからの中央図書館サービスの項目記載を、策定委員会協議のフレームに再編して、協議からの新たな項目や指摘を加えて整理して、配置する。<br/>※4中項目の中身は、項目建てをして詳説しておく。</p> | <p>4-3. 図書館員の資質と図書館員組織</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どう編成し、成長させる仕組みをつくるか。</li> <li>・戦略的な全域への配置やロケーション方針が必要。</li> <li>・中央館の部門構成、職員配置の方針も必要。</li> </ul> <p>※現在のマンパワーの再編とブラッシュアップへの期待が市民から表明されている。行政からは同様に現有経常経費を過度に膨張させないマネジメントの再編が求められている。<br/>※H22. 図書館協議会答申P8「職員のあるべき姿」を協議</p>                                      | <p>(3)<br/>素案広報公聴の記録</p>                               |
| <p>1-4. 多摩市の図書館政策研究の経緯</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中央図書館の必要性と整備計画</li> <li>・図書館協議会からの答申</li> <li>・市民意見聴取、市民の参画/研究</li> </ul> <p>※H28. 多摩市読書活動振興計画P2～4. 梗概やH22. 図書館協議会答申など、今回策定委員会協議の基礎資料を梗概化して、配置する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館政策、現状の総括</li> </ul> <p>※現在の図書館政策の「理念」から「目標」へ。当面の具体的対策の方向性。<br/>①本館再整備、機能の充実。②職員体制の充実。</p>            | <p>2-4. 市民利用者との協働を大切に柔軟なそれぞれの図書館運営</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館の資料・職員・施設や活動の充実と成長を図るため、市民利用者との協力や協働をふまえて運営や企画を進める。</li> </ul> <p>※H22. 図書館協議会答申などの指摘。</p> <p>※現状でも図書館でのお話や、学校での出前サービスに市民グループの協力が行われているが、さらに今後、こうした市民活動コーディネーターや、施設整備や運営にも、情報開示と市民参画への希望や意欲が現された。</p>   | <p>3-4. 市民利用者との協働の運営で中央図書館に「ことのデザイン」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民利用者との協力や協働を、生涯学習のプログラムに位置づける中央図書館の運営や、市民要望に感応する柔軟な企画を進める。</li> </ul> <ol style="list-style-type: none"> <li>①選書や資料構築にあたり市民意見や寄贈の受け入れ</li> <li>②定期的な利用者懇話会など運営への公聴と市民参画</li> </ol> <p>※H22. 図書館協議会答申などの指摘。</p> <p>※中央図書館整備のプロセスや整備後の運営についても、市民グループ、市民利用者からは、協働や市民参画への希望や意欲が現された。折々でいいいな「情報開示」と「行政の文化化」が市民との協働の基盤となるだろう。</p>  | <p>4-4. 機能的/快適/経済的な施設づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開架各部門の資料世界表現や蔵書の成長や、少人数のデスク配置や運営を担保させて、機能的で経済的な施設の、計画設計建設の事業手法を研究する。</li> <li>・更に、市民的合意形成のポイントを重視する。</li> </ul> <p>※図書館施設整備に際して、近年総務省の推奨するPPP・PFI手法による民間事業者への設計施工一括委託方式が、施設の専門性達成や建設事業費の削減に寄与するという客観的説明が、市民合意形成に求められてくる。<br/>※H22. 図書館協議会答申P9「おわりに」の指摘を協議</p> | <p>基本構想 概要版</p>  |
|  |   | <p>4-5. 分館の将来像と再整備の進め方をふまえて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中央図書館整備につづき課題となっている、老朽化した地域分館の改修計画についても、地域ニーズをすくい取る計画のプロセスを大切に、図書館員が前面に出て整備具体化を併行して図りたい。</li> </ul> <p>※中央図書館整備に伴う全域の分館との役割分担が、今後の分館再整備にどう条件を創出するかが市民の関心の的となっている。開架資料や職員の削減は分館充実と逆行するという意見表明がある。</p>   |  |  |

多摩市立図書館本館再構築基本構想 | はじめに (案文)  
基本構想 (素案)

多摩市立図書館本館再構築基本構想 | もくじ (案文)  
基本構想 (素案)

昭和48年(1973)開館に始まる多摩市立図書館は、自動車図書館やまぼと号を市内20か所のサービスポイントに巡回させて、全市全域奉仕の方針を明らかにしながら、その図書館システムを成長させました。諏訪、東寺方、豊ヶ丘、関戸、聖ヶ丘、永山、唐木田と順々に生まれた図書館は、本館を頂点とした組織体の下位の分館としてではなく、それぞれの地域の暮らしに向き合った地域図書館であり、それらの連帯の形が多摩市立図書館そのものであったといえることができるでしょう。

平成2年(1990)に「(仮称)多摩市立中央図書館基礎調査」の研究があります。開館17年、理念的な図書館システムの青年期を経て、状況の課題や成長の方向性を考えたときに、全体を力強く支え動かす中枢機能と市民の高まる要求に応える専門性をそなえた中央図書館の必要性が提言されたのです。図書館政策で一歩先を行く国内や外国の都市の図書館が、選択して実績を証明している施策の方向性でもありました。

以後、多摩市は具体化の方策を模索し、市民グループも図書館との奉仕協力に加えて研究会や市民的共感づくりに取り組みますが、人口減少や高齢化や地方自治財政の縮小など成長管理型社会への移行が、時代状況の中心課題となり施策が足踏みします。国が推奨する都市政策の方向性もあり、平成25年(2013)多摩市は「多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム」を市民に示しました。近い将来の公共施設建て替え更新にはじまる財政負担の危機を予測し、持続可能なまちづくりを行政と議会が研究議論したビジョンの市民への提示でした。ここに、図書館本館の再整備と地域館の削減が提示されます。これは施設削減を越えて、これまでの図書館政策の理念の変更や身近な暮らしを支える施策の後退と見えて、各地の多くの市民が異議を表明し、運動を展開しています。40年の多摩市の図書館の歴史を振り返ると、図書館サービスをおだやかに享受する幸いな情景がありましたが、それぞれの地域館に利用者友の会が生まれるなどの地域図書館と市民が向き合い支えあう運営の常態は育ちませんでした。しかし記録をさかのぼれば、当初、多摩市立図書館が掲げた理想は、現代の図書館の3原則に加えて「自律した市民の存在」でありました。この度の図書館奉仕に関わる行政と市民が重ねた議論や思いは、根源的理想を確かめる出来事とも思われます。

平成28年(2016)7月、いくつかの社会状況の変化や多様な市民意見の反映もあり、多摩市は「公共施設の見直しと将来像(行動プログラムの見直し)」を提示します。図書館地域館の存続を前提に、本館再整備など多摩市の図書館全体像を市民とともに考えてゆこうという提案です。さて、前述の社会状況の変化とは以下の4点です。

- ・H25夏. 市財政の展望をふまえた「行動プログラム案」の分館縮減案に大きな市民反響と行動。
- ・H25冬. 都市計画税の使途を緩和する法改正により、市財政計画の前提と展望に状況変化。
- ・H27冬. 駅前本館PFI整備案の進捗困難な状況に、優良条件の適地の取得可能性が生まれた。
- ・H28春. 多摩センター地区の、中央公園、パルテノン多摩、図書館新本館(中央館)を連携する再整備の方針が公表され、それぞれの検討が始まる。

本調査「多摩市立図書館本館再構築基本構想」は、図書館に関わる市民団体や施策につながる行政部局へのヒアリングを基礎資料として、7回の策定委員会での協議を整理編成するかたちで提言としてまとめられています。また、議論と編成の進め方については、以下の3つの原則をふまえたものとなっています。

- H23「多摩市立図書館の基本方針・運営方針について」とH28「多摩市読書活動振興計画」を「本館再整備基本構想の基盤」として策定委員会は議論する。
- H22図書館協議会「多摩市における中央図書館機能およびその整備のあり方について(答申)」を「本館再整備基本構想の骨格」として策定委員会は議論する。
- 「市政世論調査や各種アンケート」「公共施設の見直し方針と行動プログラム更新案に係る市民説明会やパブリックコメント」「グループヒアリング」など、これまでの図書館政策への市民意見をふまえ、素案への意見も積み重ねて、基本構想素案を策定委員会は議論する。

構想検討の終盤に基本構想原案は、市民フォーラムやパブリックコメントなど広報公聴を経て、策定委員会で再調整され構想提言となります。多摩市立図書館の将来像に、本構想が市民的共感を得て、図書館システムの成長に資することを願います。

## はじめに

- ・本館再構築基本構想への経緯
- ・基本構想議論の3つの方針

## 第一章 多摩市民の図書館のいま

- 1-1. 多摩市のいまとこれから
- 1-2. 多摩市の図書館サービスの現状
- 1-3. 多摩市の図書館サービスの課題
- 1-4. 多摩市の図書館政策研究の経緯

## 第二章 多摩市民のめざす図書館

- 2-1. 図書館サービスの原則「基本方針と5つの運営方針」
- 2-2. 図書館システムとしての多摩市立図書館
- 2-3. 多摩N.T.再生まちづくりに役立つ図書館として
- 2-4. 市民利用者との協働を大切に 柔軟なそれぞれの図書館運営

## 第三章 多摩市民を支える中央図書館

- 3-1. 中央図書館整備の「3つの使命」
- 3-2. 中心地区に連担する開かれた中央図書館
- 3-3. 中央図書館の4つの役割と地域社会を支えるサービス
- 3-4. 市民利用者との協働の運営で中央図書館に「ことのデザイン」

## 第四章 中央図書館づくりの進め方

- 4-1. 図書館計画に欠かせない4つの特性
- 4-2. 資料世界構築と開架の配架表現
- 4-3. 図書館員の資質と図書館員組織
- 4-4. 機能的/快適/経済的な施設づくり
- 4-5. 分館の将来像と再整備の進め方をふまえて

## おわりに

### 策定委員会の構成と経緯

## 別冊 資料編 基本構想策定の経緯と記録

- (1) 策定委員会要点録
- (2) 協議検討資料 関係団体等ヒアリング記録
- (3) 基本構想原案の広報公聴の記録

## 別冊 基本構想概要版

本編の頁 | 別冊資料編頁

※現代の図書館の3原則  
・ 図書の貸出奉仕の重視  
・ 子どもサービスの重視  
・ 全市全域サービス重視

※新たな敷地に再整備された新本館を、多摩市立中央図書館と呼ぶことも考えられます。